



りゅうおう

議会だより

No. 139

2007.5.15

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713(直通) (有) 58-3713



春が来た！
竜王西幼稚園入園

ピカピカの一年生
竜王西小学校入学

第1回（3月）定例会

平成19年度予算	 P	2～ 3
条例関係・補正予算・請願など	 P	4～ 7
一般質問	 P	8～15
委員会報告	 P	15～18
議会傍聴記、編集後記	 P	18

● 主な記事 ●

平成19年度予算、
条例改正、
一般会計補正など

平成19年第一回定例会は3月5日から3月22日までの日程で開催されました。
主な議題は平成19年度予算、条例改正、平成18年度補正予算等について審議しました。

平成十九年 第一回定例会

自律推進まちづくり計画予算

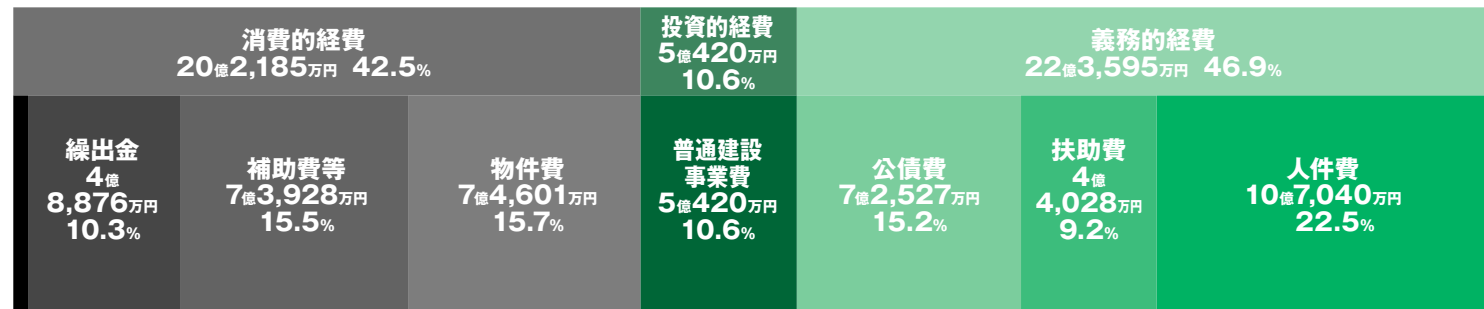
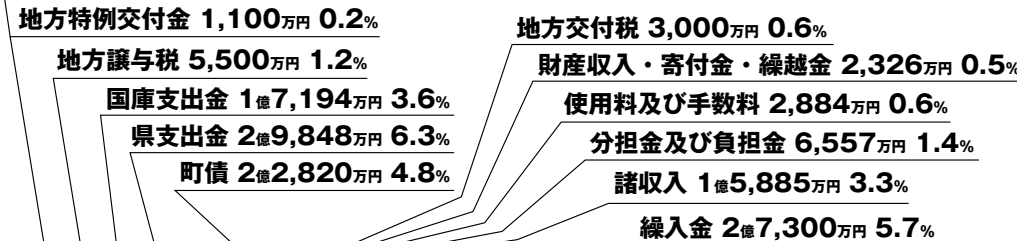
平成19年第一回定例会は、3月5日から22日までの18日間の会期で開催された。平成19年度一般会計予算および7特別会計予算が提案され、一般会計は予算第一特別委員会に、また特別会計は、予算第二特別委員会に審査を付託され、3月22日の本会議で可決決定された。

47億6,200万円
(対前年比0.3%減)

歳入

歳出

地方消費税交付金・自動車取得税交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金
利子割交付金・ゴルフ場利用税交付金・交通安全対策特別交付金 1億9,000万円 4.0%



維持補修費 4,780万円 1.0%
出資金 貸付金 積立金 予備費

主な質疑応答は以下のとおり。

●国保事業（事業勘定）
ヘルスアップ事業の取り組みはどのように進めるのか。
医療費制度改革で、

平成20年度より40歳以上の被保険者について健康診断と特定疾患への指導が義務付けられ、平成19年度に保健指導計画を策定します。事業内容として検診未受診者の把握や

生活習慣病の抑制など、健康指導に取り組みます。
●国保事業（施設勘定）
医科の収入で減額の理由は何か。
答 国保での老人の利用は多いが往診の患者および

平成19年度主要事業の概要 ●新規事業 ○拡大事業

- 安心して暮らせる町土、即ち安全のまちづくり**
 - 東近江行政組合消防負担金 1億5805万円
 - 防災まちづくり事業（防火水槽設置工事） 950万円
 - 竜王小学校施設整備事業（低学年棟耐震診断） 289万円
 - 竜王幼稚園施設整備事業（園舎耐震診断） 434万円
- 快適でうるおいのある生活環境づくり**
 - 自ら考え自ら行うまちづくり事業 900万円
 - 八日市衛生プラント組合負担金 5719万円
 - 中部清掃組合負担金 8899万円
 - 農地・水・環境保全向上対策事業 1413万円
 - 中心核整備事業 207万円
 - 公共下水道事業操出金 2億5175万円
- 地域再生と活力を与えるたくましい産業づくり**
 - 道の駅管理事業 1812万円
 - 農林公園他施設管理事業 3087万円
 - 農村総合整備事業 6306万円
 - 日野川流域土地改良区負担金 8604万円
 - 国営日野川土地改良事業負担金 1億5692万円
 - 企業誘致推進事業 5005万円
- 健やかに暮らせる健康福祉と子育て支援づくり**
 - 国保特別会計（事業勘定）繰出金 5797万円
 - 東近江圏域共同事業 2030万円
 - 後期高齢者医療事業 3268万円
 - 福祉医療費助成事業 1億1142万円
 - 介護保険特別会計繰出金 8165万円
 - 児童手当 1億1088万円
- 新しい時代を拓く魅力ある場づくり人づくり**
 - 中学生海外派遣研修事業 226万円
 - 小学校教育用コンピューター整備事業 1022万円
 - 中学校施設整備事業 9311万円
 - 図書館管理運営費 2060万円
- 生活を高める個性豊かな薫り高い文化づくり**
 - 妹背の里管理運営事業 3213万円
 - 総合運動公園管理運営事業 6850万円
 - スーセーマリー市友好親善使節団受入事業 100万円
- 第4次竜王町総合計画の推進と効率的な行財政改革の執行**
 - 庁内LANシステム開発事業 702万円

会 計 名	予算額 (万円)	前年度比較	
		増減額 (万円)	増減率 (%)
国民健康保険事業（事業勘定）	8億1,200	7,900	10.8
国民健康保険事業 医 科	8,800	△ 200	△ 2.2
国民健康保険事業 歯 科	5,100	0	0
老人保健医療事業	9億3,000	6,800	7.9
介護保険	5億2,900	△ 600	△ 1.1
学校給食事業	5,800	△ 300	△ 4.9
下水道事業	8億700	△ 8,000	△ 9.0
日野・竜王・安土町教育委員会社会教育主共同設置	-	△ 166	皆減
水道事業 収益的支出	3億600	△ 1,200	△ 3.8
水道事業 資本的支出	2億1,950	2,481	12.7

●学校給食事業
問 給食費負担金300万円の減額は、児童・生徒の減少であるが、何人減少するのか。
答 平成18年度より81人減少します。
●下水道事業
問 下水道普及率と、水洗化率はどれくらいか。
答 竜王町の普及率は69・7%で集落排水を含むと76・7%です。水洗化率は83・9%で集落排水を含むと85・4%です。
意見 松が丘で下水道本管への接続が遅れているが、住民に理解を求め、平成19年度中にも目途がつくようにすべきだ。

●介護保険
問 地域包括支援センターの職員は何人か。
答 主任ケアマネジャー、社会福祉士を置くことになっており、2人です。
●水道事業
問 松が丘への加圧ポンプ設置は、なぜ必要か。
答 住宅地の高い所は、水圧が低く、また近くに物流センターもあり、更に水圧が落ちるため加圧ポンプを設置します。（全て全員賛成）

予算第二特別委員会

委員長 村井幸夫

平成19年度竜王町一般会計予算については、県が示す市町合併について、今後の方向性を十分に見極めながら、自律推進のまちづくり計画の推進や「都市核づくり」、「若者定住」、「インターチェンジの活用」の三つの柱を重点に置いた予算編成となっている。

歳入歳出の予算総額は、それぞれ47億6200万円、対前年比0.3%の減。審査で出された主な意見は。

●指定管理者制度になって委託料が減り、町の持ち出しが減ったが、その分、利用する者へのサービスが悪くならないよう

予算第二特別委員会

副委員長 岡司重夫

本委員会は、3月15日平成19年度竜王町特別会計予算7議案の審査を行った。

●老人保健医療事業
問 医療給付費が増加しているのはなぜか。
答 給付対象年齢が本年10月から75歳になります。このため対象者は減少しますが、高額医療や入院患者が増加しているのが要因です。

●下水道事業
問 下水道普及率と、水洗化率はどれくらいか。
答 竜王町の普及率は69・7%で集落排水を含むと76・7%です。水洗化率は83・9%で集落排水を含むと85・4%です。
意見 松が丘で下水道本管への接続が遅れているが、住民に理解を求め、平成19年度中にも目途がつくようにすべきだ。

●介護保険
問 地域包括支援センターの職員は何人か。
答 主任ケアマネジャー、社会福祉士を置くことになっており、2人です。
●水道事業
問 松が丘への加圧ポンプ設置は、なぜ必要か。
答 住宅地の高い所は、水圧が低く、また近くに物流センターもあり、更に水圧が落ちるため加圧ポンプを設置します。（全て全員賛成）

3月定例会

付託案件

総務教育民生常任委員会

条例改正

◎滋賀県教育委員会からの「派遣指導主事」設置の制度は、平成18年度で廃止となり、19年度からは各町独自の配置となるため、「教育職給料表」を条例に追加する。

併せて、扶養手当の額を改正するもの。

主な質疑応答

問 給料表の級はどのような人を対象としているのか。

答 1級から4級があり1級・2級は新人や経験のある者、3級は教頭、4級は校長です。（全員賛成）



オープンした蒲生野の湯

泊施設を有せず、入浴料金が1000円未満の浴場」に該当するため、入湯税を免除するもの。

主な質疑応答

問 平日は600円だが食事とのセットで1000円を超えた場合はどうなるのか。

答 入湯料で判断します。

問 経営状況の把握は出来るのか。

答 入湯税が納付される施設の場合は調査できますが、納付のない場合の調査は難しい。（全員賛成）

◎竜王町福祉医療費助成事業は、他の公的な医療費助成が受けられる場合、そちらを優先するとしたものですが、昨年4月からの障害者自立支援法の施行に伴

い、滋賀県では他の公的な医療費助成、優先という順序に関係なく申請者に一番有利な制度を選択し、利用することができるように変更されました。今回、県の方針が変更されたことに伴い、竜王町福祉医療費助成条例も同様に改正するもの。

主な質疑応答

問 障害者自立支援法で利用者の負担が増えたことと関係しているのか。

答 一概に言えませんが本人にとって有利な制度をアドバイスします。（全員賛成可決）

◎第五次竜王町国土利用計画を定めることについて

この計画は、竜王町の土地利用に関して必要な事項を定めるもので、「竜王―C周辺整備による産業振興」「若者定住の促進」

「生活拠点である都市核づくり」について具体的に推進していくため、一部を見直しするもの。

主な質疑応答

問 広域の土地計画区域の見直しとの関係はどうなのか。

答 平成16年に見直しがあり、次は5年後の21年です。

今回、町が国土利用計画で見直すことにより、具体的な計画を進めることができます。

問 都市計画マスタープランとの関係はどうか。

答 今回の国土利用計画を認めていただいた後都市計画審議会でもマスタープランを審議していただきます。

具体的な利用計画が進んでいる関係で国土利用計画の変更を余儀なくされている面もあります。（全員賛成可決）

基金積立 2億830万円

平成18年度竜王町一般会計補正予算（第4号）は、7682万8000円を追加し、歳入歳出予算総額を67億582万8000円に改めるもので、総務教育民生常任委員会に審査を付託され、3月16日の本会議において全員賛成で可決成立しました。

総務教育民生常任委員会

付託

◎平成18年度一般会計補正予算（第4号）審査の中で、主な質疑応答は、

問 (株)雪国まいたけの工場建設にかかる農工法の期限はどうなったか。

答 3年の期間延長を認めてもらいました。第2

期の区域は期間延長の間に文化財調査などを済ませ許可を取るよう指導していきます。

問 道の駅周辺のアクセ

ス道路の境界確定は進んでいるのか。

答 民々境界で解決出来ていない所があり、確定に時間がかかっています。

平成18年度一般会計補正予算(第4号)の主なもの

歳入	
○前年度繰越金	8576万円増
○地方特例交付金	3655万円増
○地方交付税の特別交付税分	2000万円増
○所得譲与税	1150万円増
○埋蔵文化財発掘調査費雑入	1066万円減
○都市再生プロジェクト推進調査国庫委託金	800万円減
○中学校大規模改造事業債	760万円減
○町たばこ税	700万円減

歳出	
○財政調整基金積立金	2億830万円増
○減債基金積立金	4000万円増
○下水道特別会計繰出金	3883万円減
○工業用地整備計画委託料	1300万円減
○物流拠点整備計画策定業務委託料	1200万円減
○児童手当	1200万円減
○自立支援給付費（介護給付・訓練施設給付）	1050万円減
○運動公園管理業務委託料	864万8000円減

繰越明許費による繰越事業	
○介護保険システム修正業務	215万3000円
○竜王町道路台帳更新業務	450万円
○竜王町中心核整備等基本計画策定業務	241万5000円

地方債補正	
○臨時地方道整備事業債	150万円の増
○中学校大規模改造事業債	760万円の減

早く進むように地元関係者と協議しています。

◎平成18年度国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）

494万8000円減額し、歳入歳出予算総額を7億9508万8000円に改めるもの。

歳入歳出の主なもの

・前年度繰越金 1510万9000円増

・共同事業交付金 628万8000円減

歳出補正の主なもの

・一般被保険者・退職被保険者等療養給付費 600万円増

・老人保健医療費拠出金 634万1000円減

主な質疑応答

問 退職被保険者の把握はどのようにするのか。

答 該当者は、被用者年金の加入期間が20年以上又は、40歳以上の方で10年以上です。該当者の届出により把握をしています。（全員賛成）

産業建設環境常任委員会付託

◎平成18年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）は、

3条予算 1040万円減額し、3億1130万8000円に改めるもの。

4条予算 収入3690万円減額し、1億3080万円に、支出1911万6000円を減額し、1億8557万2000円とするもの。

内容は、山之上南部方面配水管布設工事等の工事請負費や委託料の減額によるものです。（全員賛成）

その他の条例・規則改正の主なもの（即決議案）

- 竜王町議会委員会条例を閉会中も議長が「指名・変更・許可」できるように改正するもの。
地方自治法の改正によるもの。（全員賛成）
- 竜王町議会規則を委員会が議案提出できるように改正するもの。

地方自治法の改正によるもの。（全員賛成）

- 竜王町課設置条例の一部改正。健康推進課の介護予防に関することが福祉課の担当になる。

（全員賛成）

- 竜王町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正。午前と午後15分ずつあった休息時間を廃止し昼休みが45分間となるもの。（賛成多数）

- 竜王町証人等の実費弁償に関する条例の一部改正。法改正による条項ずれ改正。（全員賛成）

- 日野町、竜王町および安土町教育委員会社会教育主事共同設置特別会計

条例を廃止する条例。

（全員賛成）

- 竜王町老人福祉医療費助成条例の一部改正。

「標準負担額」を「食事療養標準負担額」に改めるもの。（全員賛成）

その他の補正予算（即決議案）

議案）

- 平成18年度竜王町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）

補正予算（第4号）

医科は563万3000円減額、歯科は481万5000円を追加するもの。（全員賛成）



山之上診療所

- 平成18年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第3号）

4196万6000円減額するもの。

（全員賛成）

- 平成18年度日野町、竜王町および安土町教育委員会社会教育主事共同設置特別会計補正予算（第2号）

（全員賛成）

規約の変更、その他

- 地方自治法改正に伴う滋賀県自治会館管理組合規約の変更について

- 地方自治法改正に伴う滋賀県市町村議員研修センター規約の変更について

- 地方自治法改正に伴う滋賀県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

- 地方自治法改正に伴う滋賀県市町村交通災害共済組合規約の変更について

- 地方自治法改正等に伴う滋賀県市町村職員退職手当組合規約の変更について

- 日野町、竜王町および安土町教育委員会社会教育主事の共同設置の廃止について

以上6件全員賛成

- 滋賀県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

- 市町の議会の議員と長及び副市町長のうちから、議会において一人を選出するもので、選挙の結果山口喜代治氏が当選された。



竜王中学校配膳室屋上工事の様子

追加議案

- 竜王町文化財保護審議会設置条例の一部改正。

竜王町教育委員会事務局組織規則の一部改正により教育課を学務課に改めるため、同条例の教育課の部分を削除するもの。

- 人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて。

- 推薦候補者 大内照子氏（異議なし）

- 専決処分

竜王中学校大規模改造工事請負の契約金額を、1億9215万円から、2億1546万2100円に変更するもの。

校舎棟と本館棟の照明器具取替や廊下等の塗装および技術科棟の塗装等の追加変更のため。

- 辻川芳治議員の議員辞職について

3月17日付で議員辞職願いを受理した旨報告。（異議なし）

請願

2件の請願書が提出され、いずれも産業建設環境常任委員会へ審査を付託されました。

労働法制を改悪するのではなく、改善するよう国に求めてください（請願書）

- この請願については、産業建設環境常任委員会に付託され、継続審査になった。

請願内容の主なものは、

- 長時間労働の抑制、解雇法令の整備、派遣労働の適切な規制による解雇者責任の強化

- 最低賃金法の抜本改正、均等待遇の実現、有期雇用の制限

紹介者からの説明内容は、

- ①平成18年12月27日の労働条件分科会のまとめをうけて、これらの法案の上程が検討されてきたが、参議院選もあり今は見送

日豪EPA交渉に関する請願

- この請願については、産業建設環境常任委員会に付託され、全員賛成で採択された。

請願内容の主なものは、

- ①重要品目に対する例外措置の確保について
- ②WTO農業交渉に対する我が国の主張に基づいた対応の確保について

紹介者からの説明内容は、

- 農水省は2月26日、日本が仮に農産物の関税など国境措置を完全撤廃した場合、国内の農業生産額の42%に当る約3兆6000億円減少し、食料

意見書

- 日豪EPA交渉に関する意見書 本請願の採択を受けて次のような意見書に関係大臣宛へ提出する事を決めました。

（全員賛成）

- わが国の豪州からの輸入状況を見ると、農林水

費分やこだわり米への需要分などを除き、ほとんどが外国産になると見込む。生産量は、90%に当る1兆8223億円減少する。

畜産でも、品質面で優位な一部国産品を除いて外国産に置き換わり、生乳が88%相当の5799億円、牛肉が79%相当の3706億円、豚肉が70%相当の3671億円減少する。

国内では、国産農産物の生産減少等に伴い、農業者を含む国内全就業者数の5・5%に相当する約375万人の就業機会が失われる。

があります。

こうした状況をふまえ、政府においては、以下の事項が確保されるよう断固とした対応がなされるときともに、豪州側がわが国の重要品目の柔軟性について十分配慮しない場合は、交渉の中断も含め厳しい判断を行うよう強く要望します。

米・麦を初め農業は壊滅、日豪EPA問題について、地域経済壊滅に危機感をもって各地で集会が開催されている。

4品目の関税が撤廃されると、南九州では1500億円、北海道十勝では4434億円の打撃と試算。品目別では小麦1200億円、砂糖1300億円、乳製品2900億円、牛肉2500億円約8000億円が影響する。

国において主要品目を守るためにも、意見書の提出による後押しが必要であるとのことであった。

- (1)重要品目に対する例外措置の確保

- (2)WTO農業交渉に対する我が国の主張に基づいた対応の確保

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

一般質問

3月定例会

10人の議員が22問

- ①農村の資源は誰が守るの 村井 幸夫 議員
- ②竜王町行財政改革、自律推進計画の執行方針は 寺島 健一 議員
- ③町の特区計画は 川嶋 哲也 議員
- ④国道 477 号に歩道は出来ないのか 岡山 富男 議員
- ⑤自律のまちづくりの方向を示すのか 近藤 重男 議員
- ⑥ほんとうに自立できるの？障害者は 若井 敏子 議員
- ⑦「合併ありき」か？ 勝見 幸弘 議員
- ⑧我が町の高齢化対策は 山田 義明 議員
- ⑨一刻も早く防犯灯の設置を 関司 重夫 議員
- ⑩地震の発生時はどうするか 竹山 兵司 議員

一般質問は、3月19日に行なわれ議員10人から22問の質問がありました。
議員1人1問をメインの質問として、その要旨を、登壇順に掲載しております。その他の質問は13ページ～15ページに掲載しています。

農村の資源は誰が守るの

地域全ての住民が守る

村井 幸夫 議員



環境整備・排水路の清掃作業

問

農地・水・環境
保全向上対策の取
組みは何集落か。町の支
援についても伺う。

答

平成19年度から
平成23年度の5ヶ
年継続して取り組みを行
います。町の支援分につ
いては、平成19年度分予
算として1364万8千
円を計上しています。

この対策は、農業者だ
けでなく、地域住民、自
治会、各種関係団体など
その地域全ての住民が幅
広く参加する活動組織を

新たに作る必要があります。これまでの各集落での取り組みでいる保全活動に加えて、農地、農道、用・排水路、溜池などの農業施設を長持ちさせる細やかな手入れや、農村の自然や景観などを守る地域共同活動の取り組みに対して支援されます。

この事業に取り組むのは27農業集落中22集落です。また、この事業は、毎年活動の記録や助成金の使途について記録を残すなどのきまりがあり、

支援金は使いきらなければならぬことになっていきます。

この事業に取り組む集落は、自治会長、農事改良組合長をはじめ各自治区、農業関係役員により、日夜連日にわたり活動計画書づくりにご尽力いただいています。今現在町で書類の事前確認を行っています。殆んど集落で4月からこの活動に取り組んでいただけるものと確信しています。

竜王町行財政改革、自律推進計画の執行方針は？

明るい光が見えてきた！

寺島 健一 議員

問

平成19年度は、
将来を見極める重
要な時期である。これの
基本方針が今回の第一回
定例会で発表された。そ
の中に、国土利用計画と
都市計画マスタープラン
を推進し町の活性化を図
る、又行財政改革集中改
革プラン、及び自律推進
計画により地域再生のま
ちづくりに邁進するとあ
る。これらについての今
後の実施計画及び具体策
を伺う。

住などの住宅施策」につ
いて、具体的に計画検討
に着手できる段階となっ
てきました。

いても「竜王町国土利用
計画」の見直しや都市計
画サイドからの基本方針
として「竜王町都市計画
マスタープラン」の策定
の目処が立ちました。
個々の課題はありますが
平成19年度には、具体的
な検討に入り、向こう数
年の中期的な達成が見込
めるものと考えています。

町の特区計画は 国の「地域産業活性化法（仮称）」 の認定に取組む

川嶋 哲也 議員

問

竜王町の特区計
画の認定が見送ら
れたのはなぜか。平成19
年度以降の新たな経済振
興施策について、どうす
るのかを含めて伺う。

答

町の県版特区は、
昨年2月ライズ構
想として「農と健康新田
園拠点創造特区計画」を
申請。その後、より具体
化した計画として、イン
ターチェンジ周辺とダイ
ハツ工業滋賀工場の隣接
地を地域とし、「若者交
流型活力創造特区」とし



国の「地域産業活性化法（仮称）」イメージ図

て再申請
しました。
県版特
区は全国
や世界に
通じる資
源や魅力
として、
地域の特
性を生か
した力強
い経済振
興を図る
ために設
けられた
制度です。
審査会では、「総化の計画である」「民間事業者の事業それぞれについて、関連性が見えない」などの意見があり、結果として認定が見送られました。

県では新年度早々に、地域の特性・強みを生かした企業立地促進等を通じ、地域経済の活性化の実現をめざす「地域産業活性化法（仮称）」の施行が予定されているので、現在の竜王町が抱えている市街化調整区域での工

業用地の造成等の課題解決のためには、農地法や都市計画法などについても国の支援が得られるこの法に基づき認定を受ける方が得策ではないかとのアドバイスを受けています。

この法の施行が5月上旬とのことから、6月下旬の第1回申請をめざし、準備に取り掛かり県関係機関等の指導も受け認定に努力します。

答

新年度には、計
画第7年次目を迎
え、本町としては、たく
ましいまちづくりの戦略
的な施策を推進するため
特に「生活拠点である都
市核づくり」「竜王イン
ターチェンジ周辺整備に
よる産業振興」「若者定

手法を見
出せる段
階となっ
てきまし
た。また
その推進
を前提と
した土地
利用につ



竜王インター周辺

国道477号に歩道は 出来ないのか？

今では拡幅用地がないが

岡山 富男 議員

問

希望が丘団地から七里の石部神社までの国道477号の歩道設置は出来ないのか。併せて、山面から西横関間の歩道設置はどうか。

答

当該国道は、県管理の国道であるので、県に頼らず町で歩道設置が出来ないのかとのことです。歩道設置可能幅が1m～2m位である



国道477号線・行き止まりの歩道

り、歩行者の安全を確保するには狭小であります。拡幅するには、河川の通水断面を侵すことになるので、河川構造上極めて困難です。また、山面から西横関区間についても現在の通学路は、堤防の法尻の道路を通行し、国道の車道部の通行を極力少なくしています。現状では歩道拡幅の用地がなく、拡張するのは、莫大な工事費用が必要などから、今後は両区間とも道路管理者、河川管理者、また河川堤防の安全を見据えた利用等について、関係者の皆さま方と協議を重ねます。

自律のまちづくりの 方向を示すのか

検討会議で研究してもらっています

近藤 重男 議員

問

県下の市町に合併新法に基づく合併推進構想案が示されたが、今大切なことは自律したまちづくりが重要である。「合併を決めるのは、住民の意向を尊重し、平成19年度内を目途に」と言われているが、自律のまちづくりの方向は示されるのか合併とまちづくりについて伺う。

答

竜王町においては将来の市町合併を見据えたまちづくりのあり方や住民との話し合



2月に開かれた県主催の講演会

いを広めていくため、町内各層の皆さんを中心に竜王町市町合併推進検討会議を設置し調査研究に着手いただいています。年末年始にかけて各自治会で話し合っていただき、18自治会から約700にわたるご意見等をいただきました。合併を検討していくなかで大いに参考にさせていただき、今後住民皆さんが、判断

いただく情報も提示していきます。自律のまちづくりの方向についてはまちがもつ地域の人材や資源、特色を最大限に生かしながら自治体行政の厳しい時代こそ、自助、自律の精神をもつて戦略的にたくましく町づくりを進めていくことであると考えております。

ほんとうに自立できるの？ 障害者は

自立支援のために努力します

若井 敏子 議員

問

自立支援法ができて、どんな影響ができたか。県の緊急支援策はどのようなものか。障害者は何を求めているか。

答

障害者自立支援法の施行で、居宅サービスは、費用負担0～千円程度だったものが一挙に負担が増え、通所施設の利用者は、作業所の収入から利用料などを



やまびこ作業所で仕事をする皆さん

差し引くとマイナスになるという現状です。施設運営も支援費収入が減り、自立を支援するという法の趣旨からすれば、激変緩和対策が必要と考えます。

障害者個々人の負担は居宅サービスで三百円の人が一万円に、グループホームでは0の人が一万一千円に、施設サービスでは0の人が一万五千円にと大巾な負担増となっています。

県の緊急対策は障害者

の自立を推進するもので町内のサービス利用者の19名が対象となりました。障害者の要望は、利用者負担の軽減、減免、施設の充実・整備の他、教育啓発の要望もあります。障害者のサービス利用料自己負担分を町で補助するには、年間七百万円必要です。来年度国が進める緊急特別対策を有効活用し、皆さまの要望に答え、自立支援のために一層努力します。

「合併ありき」か？

合併を前提とした
まちづくりビジョンを

勝見 幸弘 議員

問

行政執行方針の中に、合併問題について「見極める時が来た」と表現している。「いつごろ、どのように」結論を出すのか。

合併推進検討会議は

「合併ありき」の方向を示しているのではないのか。「住民の意向・意見等を十分把握して…」とは、どのような方法をとるのか。「将来に禍根を残さないように」とは、とことん議論せずに決定する事だと思いがどのように考えるか。

答

期限を切って拙速に進める事ではないと考えますが、合併新法の期限内での取り組みを実現するのなら、関係市町との合併協議に2年程度は必要であり、19



竜王町合併推進検討会議のようす

年度末が結論を出す時期と考えています。「合併ありき」という視点でなく、将来のまちづくりのビジョンを描き、積極的に市町合併を捉まえて、合併を前提とした視点から住民皆さんの意

向や意見を導き出したいとの思いが町のスタンスです。合併問題の判断の主役は竜王町民です。町として大事な事は、住民皆さまが判断していただける情報を提示して話し合いを深めていただくことです。わかりやすい資料の提供や、タウンミーティングなど、多くの住民皆さまに議論していただく機会の提供が必要だと認識しています。

我が町の

高齢化対策は

第三期計画にもつぎすすめます

山田 義明 議員

問

当町は平成26年には高齢化率が22・9%と予測され、近年福祉・保健・医療関連の行政サービスにおいて短いサイクルで次々と改革が進められている。今後当町の持続可能なまちづくりを目指すうえでの課題や問題点と、長期の展望について伺う。

答

介護保険は第3期介護保険事業計画を策定しました。計画の主な内容は「予防重視型システムへの変換」、「新たなサービス体系の確立」等です。高齢者が住みなれた地域で安全で安心して生活が出来るよう地域密着型サービスの充実が求められています。また医療制度改革のなかで、施設から地域へとい

われており安心した質の高い医療が受けられるように、在宅ケア・医療がこれからの高齢社会を支えていく中で体制の充実と施設の整備が必要です。障害のある方の施策に

については本年度「障害者計画」、「障害福祉計画」を策定しています。医療の課題としては長期間では医療費の高騰である生活習慣病であり早期発見・保健指導の徹底による生活習慣を変え重症・重度化を防ぐため検診・保健指導の強化推進です。行政サービスの提供では増大する事務の処理と迅速化が求められるなか人員の確保や専門職の充実などの課題があります。



福祉ステーション

問

平成19年度における道路安全施設整備事業の計画内容および、前に一般質問した国道477号鏡地先より近江八幡市安養寺までの道路照明灯（防犯灯）設置について、近江八幡市との交渉経過、今後の対応等について伺う。

答

国道477号沿線の中で、平成18年度は西川池付近の電柱に添加方式により防犯灯を3基増設、コマツキャブテック付近では2基増

一刻も早く防犯灯の設置を

県へ強く要望します

関司 重夫 議員

設と高照度の器具に2基交換しました。

今後とも県と協議を進める中で緊急性の高い個所から整備していきます。国道477号における国道8号交差点から篠原駅までの区間の沿線部分につきましては、竜王町地先と近江八幡市地先であり、防犯灯の設置については、近江八幡市と協議をした結果、道路管理者の県（東近江地域振興局管理調整課）に対し、



急がれる防犯灯設置（近江八幡市側）

近江八幡市、竜王町が歩調を合わせて要望したいと考えております。

また、市道安養寺鏡線については、農耕用の農道としての利用度が高く、農道の機能維持という観点から近江八幡市としては、現在本路線への防犯灯設置計画はないとの事です。このような状況から、安全確保のためにも極力国道477号を利用していただくことをお願いいたします。

地震の発生時は どうするのか

防災センターに備えたい

竹山 兵司 議員

問

阪神大震災から12年目わが町の災害対策と災害ボランティアの育成は、どうなっているのか。

また高島市では下敷きの人を救出する道具としてジャッキを全自治会に配備された。わが町の対応は？

答

災害対策には、自らが身を守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政消防等公的支援をする「公助」があります。阪神淡路大

震災をはじめ、新潟県中越地震などで災害ボランティアが活躍されました。本町では、平成19年1月福井県沖の重油流出事故や、平成16年の台風23号、豊岡市への水害支援を町社会福祉協議会が行ないました。

防災訓練は毎年行ない住民意識の向上につとめ、本年の自主防災訓練の取り組みは28地区で、参加者は2、400名です。

予期せぬ災害に備え、その被害を軽減するためには、「自分たちの地域は自分で守る」を基本に地域社会での住民相互の連帯意識の高揚と地域防災力の向上を計り、福祉関係や、各地のボランティア団体とのネットワーク作りが大切だと考えています。なお竜王町防災センターには、ジャッキは備えていませんが、今後は備える方向で検討します。

こんな質問も しました



問

保育園と幼稚園の機能を兼ね備えた保育園の設置を考えているのか。

村井幸夫議員

答

保育園の機能をもちた幼稚園の必要性は感じています。実施には、制度・施設・設備・人材確保等が必要で、平成19年度に「竜王町幼稚園教育推進協議会」を立ち上げ、学級定数の見直しや、保育園のあり方等を諮問する考えです。

問

近江八幡市、安土町、竜王町の合併の枠組みの結果は早く出すべきではないか。

答

県は平成22年3月31日までに自主的合併が可能な地域として一市二町を示しています。竜王町としては、合併については、竜王町自身で判断していくものであり、住民皆さまとの話し合いを広げ、その意向意見を把握しながら進めていきます。

問

いじめについて、昨年12月以降の状況と、新年度の方針を伺う。

答

昨年発生したいじめ等は35件でそのうち24件が解消、残りは継続指導中です。新たないじめといじめが心配される事案は8件でうち3件が解消、残りは継続指導中です。

いじめはいつでも、どこでも、誰にでも起こることですが、絶対に許されない事です。その意識を常にもち続ける事が大事で、その姿勢がいじめ撲滅につながると考えており、以下三点を重点的に取り組みます。

- ①担任の、子どもへのかわり方の見直し
- ②組織で動く体制づくり
- ③地域・保護者への啓発と連携



京都新聞より

問 学校幼稚園の施設管理や遊具の安全点検はどのようにされているのか伺う。

答 近藤重男議員
日常の点検は校長や園長が行ない、耐用年数が経過した遊具については逐次更新しています。

またPTA等の協力を得ながらペンキの塗り替えもおこない使用年数の延長に努めています。

樹木等の管理はシルバ―人材センターに年間委託をしています。

学校、園とは意見交換会を開き、学校、園からの要望等を聞き、学校運営がスムーズに進むよう努めています。



遊具であそぶ園児

問 全国学力テストは個人情報保護の上で問題がある。どうか特別支援教育支援員はどうか活用するのか。

答 若井敏子議員
児童生徒の学力、学習状況を把握、分析し、改善するために実施されます。竜王町も実施します。保護者にも説明されます。業者が回収し分析しますが個人情報漏れる心配はありません。

特別支援教育支援員については、本年6月頃、県から連絡が来るようです。町としての活用を考えています。対象となる「気になる児童・生徒」は園児40名です。

平成17年度に教育支援室を設置しましたが、今後はさらに相談機能充実、個別の指導計画をたて適切な指導を進めます。

問 合併問題で「将来に禍根を残さないように」するためにどうするのか。

住民投票で決めるのがよいと思うがどうか。合併した町の財政はどうなっているか。

答 町として住民皆さまに情報を提示し、議論していただける機会を提供が大事だと考えています。今後は新たな手法も検討し、一番適切な手法で取り組みます。

合併したまちの財政については大きなまちになることにより、小さなまちの要素は大きなまちの現状に溶け込んでしまい合併にかかる費用や財源不足をまかなうため、基金の取り崩しや地方債の発行が行なわれるだろうと考えています。

問 町が委嘱する委員などについて、考え方、状況について伺う。

答 町が委嘱する委員などは、その内容に精通した人、関係者、関係団体、自治会の代表、住民代表、町長の推せん、



4月の社会教育委員会議のまよう

再就職を希望しているとの調査結果や、不妊治療で費用の半額、最大100万円まで補助する企業があるとのこと。

竜王町としても企業に働きかけたり、優遇税制を検討するなどの少子化対策はできないか。

答 国においては、勝見幸弘議員
若者の就労支援や企業の子育て支援の推進などが新年度予算の中で推進されます。

竜王町としても、企業がどこまで子育て支援をしているのかをアンケート調査するなど、できることから取り組んでいきます。

問 松が丘・さくら団地に「乗客がある時」だけ路線より外れた特定の停留所に乗り入れるデマンドバスの運行を検討してほしい。

答 山田義明議員
この方式は、既存の経路に追加設置することとなり、運行

経費の増大等が考えられます。

現在は青年の城行き路線の松が丘団地への迂回について運営面、運行経費等の情報提供を依頼しています。

今後は公共交通対策協議会を開催し適切な対応をしていきます。

問 竜王インターの渋滞緩和策としてスマートインター設置の計画があるのか。

答 竜王インターの通過車両台数が日平均一万五千台を超え、本線まで渋滞していることもあります。

国土交通省では「スマートインターチェンジ」調査研究が行なわれており、本町としては、竜王バスストップの位置に、ETC専用のスマートインターの設置が、最良、最適と考え、検討しています。



渋滞する竜王インター出口附近

問 教育行政方針では「いじめは人間として絶対に許されない」「いじめはどの子にも起こり、どの学校にも起こる」と書かれているが、どのような取り組みをされるのか。

答 岡山富男議員
担任の子どもへのかかわり方を見直す。組織で動く体制をつくる。地域、保護者への啓発と連携を取る等が大事だと考えています。

問 町道鏡七里線の張り出し歩道は、通学路として使われているが、張り出し部分の沈下により、法面側に傾斜している。改修についての考えは。

答 岡山富男議員
工事施工から22年余り経過し、張り出し歩道部の一部においてはかなり劣化している箇所があります。

何回か補修をしましたが、かなり老朽化してきており、抜本的な改修が必要です。張り出し部の撤去も視野に入れながら改修方法等について検討します。

竜王町議会

優良議会表彰される

二月二十八日、滋賀県町村議会議長の定期総会が開かれ、その席上で自治功労者ならびに優良議会の表彰が行なわれました。

★全国町村議会議長会
自治功労者
15年以上在職者
若井 敏子 議員

★滋賀県町村議会議長会
優良議会
竜王町 議会

★滋賀県町村議会議長会
自治功労者
11年以上在職者
村井 幸夫 議員
竹山 兵司 議員
以上

所 管 事 務 調 査

議会運営委員会 委員 寺島 健一

議会のあり方検討会報告

議会のあり方（定数等）検討会を今日まで以下8項目について13回委員会を開催致しました。その検討結果を申し上げます。

① 一問一答方式・対面方式について

※質問方法は従来通りとし、2回目の質問から前列の中央で行う。

② 議会報告会の開催について

※時期方法については今後協議ブロック別で議員は複数編成とする。

③ 政務調査活動・政務調査費の活用

※合併議論や、政務調査費問題が各地で出ている事もあり、見合わせた。

④ 各種審議委員等への就任・辞任について

※任期満了を待って正副委員長を辞退する旨

を執行部に申し入れを行う。

⑤ 夜間休日議会の開催

※休日議会は今後も検討することとし、夜間議会は進める方向で検討。

⑥ 議員研修の充実

※定例の学習会・研修会を毎月行う。

⑦ 常任委員会調査報告は「提言・提案」等で報告として行いそれに対する「質疑」も行う。

※現状を継続するものとし単なる調査の結果報告にとどまらず「提言提案」を折り込むものとする。

⑧ 議員定数について

※議員定数見直しは、賛否両論あり検討会としては結論が出ず、今後議会のある方について検討していく。

委員会報告

2月27日執行部より平成19年第1回定例会に提出される条例8件、予算15件、規約変更等6件など29議案と、滋賀県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出についての説明を受ける。

また会議録署名議員の指名、会期及び審議の日程、提出議案の処理、予算特別委員会の設置、また請願書、陳情書、議員発議案件、等審査決定した。

3月7日一般質問について、請願書の処理について、また3月19日に提出された辻川芳治議員の議員辞職の処理について審査決定した。

産業建設環境常任委員会

委員長 川嶋 哲也

委員会報告

所管事務調査

3月9日次の事について調査した（主なもの）。
（一）国民保護計画について
平成16年6月法成立、

平成18年1月県計画策定、平成18年度中に各市町策定。自然災害でなく人的災害に対するマニュアルを作る、テロ・毒ガスなど非常事態に対するもの、防災訓練にも毒ガスなど



ドラゴンハット音響測定調査

想定も考えています。

（二）東近江地域ごみ処理広域化について

①近江八幡市のごみ処理施設の更新にともない、東近江ブロックごみ処理を広域（1組合2施設）で取組む。

②平成11年3月に策定された「滋賀県一般廃棄物処理広域化計画」に基づき、東近江地域の一般廃棄物は、一組合化のもと、安全かつ衛生的に処理する。

③近江八幡市のごみ処理施設の更新については、近江八幡市が自らの責任において更新する。

（三）ドラゴンハット音響設備調査について

平成18年10月8日町民運動会当日、音響テストを行った。調査の結果ドラゴンハットが特殊な構造であることから、また、屋外環境の状況にも左右されてしまう。

シュミレーション通りにスピーカ（22台）を設置しても、100%解消することにはならない。

総務教育民生常任委員会

委員長 岡山 富男

委員会報告

滋賀県においては、平成13年に「滋賀県障害者施策長期構想2010」が策定され、障害者施策を含めた福祉施策を総合的に推進しています。

竜王町では、平成15年に東近江圏域において、「東近江地域障害者福祉計画」を策定し、障害者の福祉向上に努めてきま



やまびこ作業所

このようなことから、竜王町は、障害者基本法の本旨を踏まえて、障害者施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、長期的な見通しにたった「竜王町障害者計画」とサービスの見込料や具体的なサービス等についての方策を定めた「竜王町障害福祉計画」を策定しています。

主な質疑応答は、

問 雇用、就労対策は進んでいるのか。役場として対応はできないのか。

答 福祉課だけで取り組むのではなく、各課での対応を検討してもらうため、ヒヤリングも行っています。

委員会の意見

中間報告をしてもらったが、障害者の意見を充分調査・研究され、実効性のある計画にしていたきたい。最終でき上げる前に、再度報告をしていただきたい。

合併調査特別委員会

委員長 村井 幸夫

委員会報告

2月5日、合併調査特別委員会での意見調整をした。竜王町市町合併推進検討会議の委員構成の報告、今後の進め方を基に、議会合併特別委員会の意見集約をした。町長も選択肢はいろいろあるといっている。今我が町は、自律のまちづくりに取り組んでいるので、大きな合併ならよいが、1市2町（近江八幡市、安土町、竜王町）の合併にこだわらなくてもよいのではない。

2月14日、会議を開催。

18自治区延べ700人の合併に対する意見集約の結果について説明を受け、合併に対する議論をした。

近江八幡市の病院経営の概要、近江八幡市のゴミ焼却場の今後の建設対応処置について説明があった。県試案の1市2町

問 竜王町は、財政力指数がよいのになぜ財政が苦しいのか。

答 今まで、国の制度につて地方自治体が事業をしてきた。景気の低迷で国の施策が変化、借金が減るわけではないので苦しくなる。しかも町は不交付団体で借金の返済に町の税金が

充てられる。

委員会の意見として

一般会計、特別会計、広域行政、債務負担等を



動きはじめた雪国まいたけの工事

ふまえた借金の状況を住民に開示して、それらをもとに、年次計画の財政計画を示すべきである。

た。

問 進出企業は了解したのか。

答 競馬法の内規では、地元と町の同意が必要になるので、結果的に建設できない。

（2）竜王インター周辺整備について

16haの土地の寄付に係る覚書調印式を2月5日に行い、アウトレットは環境アセスの公告縦覧中で、平成22年春ごろ竣工予定との報告があった。

問 交通対策はどうか。

答 国道477号の4車線化や、右折だまり交差点改良など、公安委員会への協議を考えている。

（3）株雪国まいたけについて

2月10日に地元説明会が行われ、鉄骨平屋建1300㎡の倉庫兼事務所を9月までに建設。

国では地域産業活性化法ができる予定。企業や行政が協議会をつくり、

問 第3セクター統合の話は進んでいるのか。

答 指定管理者制度の事もあって時間がかかっている。観光協会との統合も検討中である。

（2）竜王都市計画マスタープランについて

第五次竜王町国土利用計画に基づく本プランの説明を受けた。

竜王町の都市計画に関する基本方針として、町としてどこまで開発するのか、実施可能なプランをとの意見も踏まえてまとめていくとの説明だった。

地域創生まちづくり特別委員会

委員長 勝見 幸弘

委員会報告

2月13日、次の事項について調査活動をした。

（1）小口地先場外馬券売場

計画について

小口も松が丘もアンケートの結果「反対」であったので進出企業に返事をされたとの報告があっ

議会広報特別委員会

委員長 竹山 兵司

委員会報告

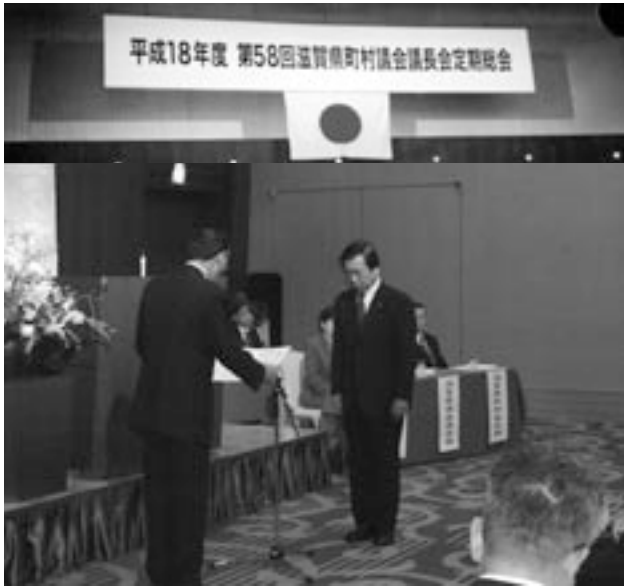
本委員会は、平成18年第4回定例会閉会後の、12月27日、1月5日、1月16日委員全員出席、1月22日委員2名欠席のもと、委員会を開催しました。そして議会だよりNo.138号を2月1日に発行しました。

3月19日に委員全員出席のもと、議会だよりNo.139号の編集会議を開催しました。

今後も委員それぞれが協力しながら、町民に親しまれる、わかりやすい議会だよりの発行に努めてまいります。

本委員会は引き続き、閉会中も調査活動が続けていきます。

また、平成19年第1回定例会開会中の3月7日、



竜王町議会 優良議会表彰を受ける

「晴れて良し曇りても良し富士の山、元の姿は変らざりけり」
これは、山岡鉄舟の一句であります。

日本の山は富士、ここ竜王においては、竜王山が威風堂々と聳え立ち、その基に生活をする我々を暖かく見守ってくれています。

小生、この地に根を下して三十年、この間何の不安も抱かず勉強もせず、ただ、平々凡々と過ごさせていだいておりました。所が、本年十九年度の自治会長と言う重席に推挙され、今更ながらに狼狽するを杞憂しております。

しかし乍ら、この儘では、推挙していただいた皆様に迷惑をかけては申しわけなく、一念発起、まず竜王を知るには（毎々読んでおりますが）書物、冊子だけではただの知識であり、本当の理解は議会を傍聴し、直かに諸々の問題と向って進むのが手取り早いと考え今回の傍聴となりました。

町議会傍聴のすすめ

薬 師 山添勝之

先ず、会議場に入って雰囲気は照明のみならず全体的に暗い。これでは真の会議は出来ないとの所感です。しかしながら議員諸氏の真摯な態度での質問、また、それに対する町長、町当局の的確な答弁に対し町行政に安心感を持った次第です。

しかし、一般質問のうち、再質問、再々質問、また、それに対する答弁が、小生は一番趣きが有って期待する所でした。

「種良し、畑良し」あと「器」を少し直せば最高かな。とにかく議会を傍聴することにより、町行政への参加となるのではないかなと思います。

多くの傍聴者が居る程議場の緊張感が満ち、マンネリを防ぎ尚一層の濃厚な質疑応答となり、しいては我町の発展に寄与出来るのではないでしょうか。何時も傍聴三十二の席が満員で有って欲しいと思います。小生も今後出来る限り三十二分の一になりたいと思います。自分の「知識」否「知恵」向上の為に。

平成十九年三月十九日

編集後記

3月25日午前9時42分ごろ、北陸を中心に強い地震があり、石川県の七尾市、輪島市、穴水町で震度6強、志賀町などで震度6弱、珠洲市で震度5強を観測した。

富山、新潟両県では震度5弱。午後6時11分ごろには、輪島市や穴水町で震度5弱の余震があった。

総務省消防庁によると、今回の地震により、死者1人、負傷者139人、住家全壊68棟、住家半壊164棟などの被害が確認されている。（地方議会4月号より）

「災害は忘れたころに」と良く言われますが、平成19年度のわがまちづくり予算の中で、「安心して暮らせる町土、即ち安全のまちづくり」を推進し、更に、住民の安心、安全を忘れてはならない。議会だよりにご意見をお寄せ下さい。

議会広報特別委員会

委員長	竹山 兵司
副委員長	岡司 重夫
委員	川嶋 哲也
	勝見 幸弘
	村井 幸夫
	若井 敏子
	西 隆